

受講生・各回研修終了後の当日アンケート結果（抜粋）

第1回・宮城

- ・開催日：令和元年9月26日(木)
- ・出席者：32名
- ・講演：「ユーザーイン経営」
アイリスオーヤマ(株) 代表取締役会長 大山 健太郎 氏
- ・講義：「コーポレート・ガバナンス」
慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 准教授 齋藤 卓爾 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	21	66%	20	71%	1	25%
2) 良かった	10	31%	7	25%	3	75%
3) 普通	1	3%	1	4%		
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	11	34%	8	29%	3	75%
2) 理解できた	15	47%	14	50%	1	25%
3) どちらともいえない	4	13%	4	14%		
4) あまり理解できなかった	1	3%	1	4%		
5) 理解できなかった	1	3%	1	4%		

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の実体験と、経営の心構え、今持っている強みを活かした新規事業への取組など、大いに勉強になった。 ・実際に事業を創ってこられた「構想・共感・実践」の話だったので、これがこれからまさに自分がやることだと実感し、覚悟を強くできた。 ・メーカーベンダーとして顧客の声を聞き、時代に合わせ変革し続けてきたからこそ成長できたとの話は、非常に勉強になった。従業員と食事を共にし、心を通わせること、朝礼でトップの考えを繰り返し伝えること等、大企業となった今でも人材育成を大切にされている話はとても勉強になった。また、女性に対し、プロ意識を持って仕事に臨むよう力強いメッセージを頂き、励まされた。 ・講師の斬新な考え方に影響された。ない市場は創るしかないといった何事にも前向きな姿勢を見習いたいと感じた。 ・地元の経営者の話を直接伺う機会は貴重であった。長年企業経営の最前線で戦って来られた実績に裏打ちされたもので、とても参考になった。頑張ろうという意欲が沸いた。 ・東北を代表する経営者である講師の、わかりやすく人間力あふれる話に引き込まれた。「強みを活かす」「オンリーワンになる」「リーダーは志を持つ」「社
----	--

	員を大切にする」、これから役員として働く上で非常に大切なことを学ぶことができた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変化に対応すべく、将来を見据えた経営が重要であることがわかった。従業員の雇用の維持についても、非常に力を入れていることがわかった。 ・実際の経験に基づき、これからの経営者や役員に求められるポイントが語られ、大変説得力があった。 ・実体験を踏まえた話は、場面に応じたコミュニケーション方法等の具体的なアドバイスも多数織り込んで頂き、とても興味深く拝聴できた。

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社における配当の仕組みや、最高意思決定機関としての株主総会に強いコントロール権を与える意味について、学ぶことができた。 ・肩肘張らずに聞ける講義で、わからずにいた「コーポレート・ガバナンス」について、理解を深めることができた。取締役の役割について再認識するとともに、自社のステークホルダーとは誰か、改めて考える機会となった。 ・自分が理解していた「コーポレート・ガバナンス」とは違う切り口からの講義で、新たな気づきを得られた。 ・難しい内容であったが、楽しくわかりやすい言葉で表現頂き、株主や経営者のあるべき姿を少し理解できた。こういった根底にあるものを理解した上で、自組織の運営を考え、指揮を取れば、何故今の役割が与えられているのかが理解でき、目線を合わせて業務を行っていけると感じた。 ・これまで、様々な資料を読んでも「こうだ!」という明確なものが掴めないままであったが、今回はポイントを抑えることができた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例をふんだんに挙げながら話して頂き、大変わかりやすく、興味を引き出して頂いた。 ・事前資料を読んだだけではわかりにくかった内容を、非常にわかりやすく説明して頂いた。また、適正な利益（付加価値）の分配が今後は重要になってくることがわかった。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・時代にあったコーポレート・ガバナンスについて日々考え、会社でどのように取り組んでいけば良いのかを考えてみたい。 ・自分の10年後について具体的にプランニングしたい。 ・自社の取組があらゆるステークホルダーに向けて満足のいくものか否かを考えて、問題があれば発信していく。 ・「適正な配分」について、今後念頭におきながら仕事を進めたいと思う。 ・市場の変化への対応力を高めるため、社員の研修や社外視察などの機会を増やしたいと思う。 ・当社の経営理念、ビジョン、行動指針の背景にあるものを理解し、今ある課題を再度洗い出す。その上で、メンバーの目線を合わせ、課題解決に向き合い、組織力の向上を図る。 ・さらなるリーダーシップ力や指導力を発揮し、部下（後輩）たちと向き合い、コミュニケーションを豊かに、全員の成長につながる活動を広げていきたい。 ・自社の社会への価値提供について、ユーザーインの視点で考えるとともに、分配についても考えたい。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・会社経営について、代表者任せにしないで、私自身の考えを持ちたい。経営者になるための勉強をしたい。

第1回・広島

- ・開催日：令和元年10月3日(木)
- ・出席者：36名
- ・講演：「After all, Life is to Enjoy ～結局のところ、人生は楽しむためにある～」
(株)広島銀行 監査役、損害保険ジャパン日本興亜(株) 取締役、
元アンデルセングループ 社長 吉田 正子 氏
- ・講義：「コーポレート・ガバナンス」
慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 准教授 齋藤 卓爾 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	23	64%	17	59%	6	86%
2) 良かった	12	33%	12	41%		
3) 普通	1	3%			1	14%
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	16	44%	10	34%	6	86%
2) 理解できた	15	42%	15	52%		
3) どちらともいえない	4	11%	3	10%	1	14%
4) あまり理解できなかった	1	3%	1	3%		
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者としての考え方や会社との関わり方など、勉強になる話がたくさんあった。また、女性経営者の視点で共感できる部分も多く、心に響く内容であった。 ・優しくも経験に裏付けされた語り口に魅了された。自身もこういう上司であればついていきたいと思うし、自身もこうありたいと強く感じた。 ・女性が経営者に向いているという話を頂けたことで、構えずとも自然体で経営側の立場に参画できるかも？と意識改革することができた。 ・女性・男性という視点ではなく 経営者もしくは多角的な視線で見ることへの大切さを学んだ。また、ワーク・ライフ・バランスに関しては、上に立つ者の姿勢が大切である、上司は不機嫌な顔を見せてはいけない、など参考になった。 ・5年後、10年後の自分のスタイルを持つこと、今の自分に重要なことと感じた。 ・自分がなりたいときにスイッチを押す、いつも自分の意思で決める、好きなことを見つける、好きなことをして人を喜ばせる、世の中に役に立つ人を育てる、女性ならではの、いつも周りが見渡せるようになりたいと思う。 ・役員に対するイメージが掴めていない自分にとって、とても参考になった。働く女性としても、仕事と生活のバランスのととり方、気持ちの持ち方も参考になった。自身がこれからどうあればよいのか、方向性を示して頂いた気がする。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・成功体験や失敗談も率直に話して頂き、社外役員としての経験も伺えたのは大変参考になった。今後会社役員のポストに就くチャンスがあれば、前向きに取

	<p>り組んでみたいと思うようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念を非常に大切にされていて、その理念が企業行動、従業員行動に繋がる仕組みづくりをされていることが理解できた。
--	---

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事でも縁のあるテーマであったが、法務ではなくファイナンスの視点でこのテーマを見ると、このような見方になるということが新鮮であった。 ・経営者の役割は適切な分配にあるというのも興味深く、グループで適切な配分について議論したときも結論が出ず、経営者というのは大変だということを身をもって理解できた気がする。 ・経営者目線で物事を見る面白さ、これまで株主総会に出ても全く気がつかなかった視点が多々あり、本当に数字の組み立ての面白さ、反面難しさに気づかせて頂いた。 ・経営者・取締役の役割について学ぶことができた。経営能力を身につけること、価値の分配について、まだまだ学ぶことがたくさんあると感じた。 ・今まで漠然と捉えていた「株式会社」の利益配分について、どういった事柄を考えていかなければいけないのかという認識を得ることができた。 ・難しい内容を、様々な事例をもとに講義頂き、身近なこととして捉えることができた。今までなんとなくわかった振りをしていたものを、根本からじっくり教わると、世間で起きていることに興味を持てるようになった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・統計値を駆使して現実を示しながら、ガバナンスが価値の分配であることをわかりやすく示して頂いた。 ・具体的数値やわかりやすい例を用いて、また用語もかみ砕いて説明されていたので、とても理解しやすかった。 ・コーポレート・ガバナンスについて理解できたとは思わないが、会社を取り巻く利害関係者の利害調整が大きな課題となっていることを知ることができた。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の持つソリューションの値付け感（エンドユーザから見た納得感のある価格設定）を見直し、事業計画にも反映させたい。 ・経営者である前に母性で社員を愛するべきと感じた。自分が日頃厳しいなと思う点もあり、もう少し長い目で愛情を持って社員育成に努めたいと強く感じた。 ・会社の利益を生み、皆が幸せを感じることができる方法を模索したいと思う。 ・「利益の分配」の話に基づき、ステークホルダーの目線を意識して、日頃の仕事に取り組もうと思う。 ・自社を経営者の視点で見た場合のシミュレーションをしてみたい。また、女性であるという気負いを持たず、会社のためという視点で仕事に取り組みたい。 ・もっと上のレベルで物事を考えるためにどうすべきか、自分自身の意識改革。 ・コーポレート・ガバナンスの講義を受けて、なぜ取締役会が重要なのかを改めて理解した。弊社での取締役会はガバナンスを働かせるためとしては機能できていないため、変えていく必要があると認識した。具体的には、取締役会でのオープンな雰囲気づくりにより、積極的な発言を求めることなどから始めたい。 ・倫理観を持って身を正すこと。広い視野で物事を考えバランス感覚を養うこと。コミュニケーション能力を高めること。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・社外取締役として、素朴な疑問や違和感を感じたら臆せず発言していきたい。 ・関与先の従業員の労働環境について、賃上げ以外に従業員満足度の上がる方策を、経営者と一緒に考えていきたい。

第2回・宮城

- ・開催日：令和元年10月25日(金)
- ・出席者：31名
- ・講義：「法的役割と責任、リスクマネジメント」
鳥飼総合法律事務所 パートナー弁護士 村瀬 孝子 氏
- ・講演：「取締役の責任と楽しみ」
ウエルシアホールディングス(株) 取締役、(株)サイバー・ソリューションズ
取締役、東北大学会計大学院 教授、成田由加里公認会計士事務所 代表
成田 由加里 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	15	48%	14	52%	1	25%
2) 良かった	14	45%	11	41%	3	75%
3) 普通	2	6%	2	7%		
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	6	19%	4	15%	2	50%
2) 理解できた	17	55%	16	59%	1	25%
3) どちらともいえない	8	26%	7	26%	1	25%
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役という役割を担う心構えから、女性が取締役になることへのきれいな側面だけではなく、本音の部分を教えて頂いて、とても良かった。 ・まさに女性役員としてのロールモデルとして活躍される講師の話を伺い、専門性はもとより、柔軟性やしなやかさに共感と尊敬の念を抱いた。 ・女性として大企業の社外取締役として務めているだけでなく、女性を取り巻く社会情勢や問題にも取り組まれていて、バイタリティにあふれる活動がとても素敵であると感じた。 ・ほぼ男性という業種であるため、今まで男性の視点に合わせる努力をしていたが、今回、女性取締役ならではの視点で話を伺い、とても参考になった。講師の熱い志や、役員としての矜持を聴き、大変感銘を受けた。 ・多くの困難を乗り越えられた講師の熱いメッセージにとっても励まされた。役員として「従業員が誇りを持って働けるよう」「経営層がぶれずに」「青臭いことを愚直に」責任を果たし、それを楽しみにしているという話は、勉強になった。 ・30年前と今、相変わらずジェンダーだという言葉聞き、やっぱりと思ったのと同時に、「変えなくては」という想いが強くなった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が実際に民間企業の取締役に就任するとはどういうことか、責任の重さと同時にやりがいはどこにあるのかなど、実際に取締役に就任している人だから

	<p>こそわかる話を頂き、刺激になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が働く上でのマインドセットについて、ご自身の経験を踏まえて、具体的な例を伺うことができた。
--	---

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・会社法を意識する場面がなかったが、取締役の責任について、実際の判例も交えながら伺えたのでイメージがついた。今後はこれらを念頭に置く必要があると気づかされた。 ・各項目の説明・解説はわかりやすかったが、実際の裁判になった事例についてのグループ討論では、いろいろな考えや意見が出て、とても勉強になった。 ・自社で取締役会事務局を務めているが、取締役会について体系的に学ぶことができ、今後の業務に多いに活かせると思った。また、役員（取締役）や監査役の立場、責任の重さ等、改めて講義で学び大変勉強になった。 ・取締役の責任の重さを知ると同時に、手順を踏んで正しくやっていけば恐れることはないと思った。 ・書籍で学んでいた会社法の基礎知識を、講義を受けたことにより、さらに固めることができた。リスクマネジメントに関する取組が遅れていると認識できた。具体例をもう少し紹介して頂けたら、なお良かった。 ・会社法の基本的な内容について、その解釈の仕方を理解することができた。 ・内部統制について理解が深まった。会社で毎月細かくチェックされているが、その意味が企業の価値向上であると理解できた今とこれまでとでは、取組が変わってくる。意味背景が理解できて良かったと思う。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで会社法を学ぶ機会があまりなかったため、会社法上で取締役や取締役会の法的な役割（責任・権限）を学ぶことができ、大変勉強になった。具体的な例や、実際の判例を提示して頂き、非常に興味深く参考になった。 ・リスクマネジメントについては、難しい点が多く、経産省の経営指針を参考にもう少し学んでみたい。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役は常に勉強し、自分自身を律し、高めていかななくてはならないと感じた。 ・取締役のみならず社内のすべての人とのコミュニケーションを欠かさず、情報の共有を図り、判断ミスなどのリスクの軽減に努めるよう心掛けたい。 ・取締役の役割と責任、リスクマネジメントからの視点で、自社の役員の動きをみたいと思う。リスク管理について、もう少し学びたい。 ・長期視点と短期視点を持つ。決断したことが及ぼす影響についても考えたい。 ・リスクを意識して仕事に取り組む。会社全体の視点から個々の業務を見てみる。 ・経営者としての法的責任を果たすために、内部統制が機能し、的確にPDCAされる組織づくりをしたいと思う。 ・感情のコントロールをしっかりとできるよう取り組む。 ・異質性を大事にする。尊敬することを忘れない。「おひたし」の実践。怒らない、否定しない、助ける、指導する。 ・取締役会、経営会議での議事録が重要な証拠となることがわかったので、より意識した発言内容としたい。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の機関の相互関係と取締役の責任の在り方について、具体例（判例など）で考えてみようと思う。 ・顧問先で、取締役に就任する予定の方に、会社法に関する情報や取締役としての責任・権限について情報を収集するように伝えていきたい。

第2回・広島

- ・開催日：令和元年11月7日(木)
- ・出席者：35名
- ・講義：「法的役割と責任、リスクマネジメント」
鳥飼総合法律事務所 パートナー弁護士 村瀬 孝子 氏
- ・講演：「女性として、リーダーとして」
日本航空(株) 特別理事 大川 順子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	21	60%	17	59%	4	67%
2) 良かった	14	40%	12	41%	2	33%
3) 普通						
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	7	20%	5	17%	2	33%
2) 理解できた	18	51%	14	48%	4	67%
3) どちらともいえない	9	26%	9	31%		
4) あまり理解できなかった	1	3%	1	3%		
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・業種が違えど、自分に置き換えて考えられる内容であった。経営破綻という経験があるだけに、説得力があった。 ・30年の客室乗務員から急に男性ばかりの経営側に移られた話、そこから今に至るまでの話を伺い、今後誰もが経験する、避けて通れない道に勇気を頂いた。 ・CAという立場から代表取締役を務めるに至るまでの話は、とても興味深く、講師の一言ひとことが心に突き刺さった。取締役になってからの意識の変化、判断・決断の話をもっと伺いたかった。 ・講師の話をお伺い、私自身がアンコンシャスバイアスに囚われていることを痛感した。また、「ありがたい姿」を思い描き、バックキャストの考え方で、今、何をする必要があるのか、とても腑に落ちた。 ・目標に向かって行く時の考え方や、人間としての生き方や在り方まで、いろいろ考えさせられた。背筋が伸びる感じがした。 ・会社が一番厳しい状況にあった中で、役員として活動された実体験に基づく経験と苦労を聞き、非常に勉強になった。また、社員のモチベーションを引き上げるための取組などを聞く中で、私自身が会社のために、また社員のために何が出来るか、熟考する機会にもなった。 ・ポジティブな考え方×熱意×能力が兼ねそろっている方は、こういったオーラを持つのだなと感じ、そのような女性になりたいと思うことができた。また、JAL フィロソフィの内容と運用についても、とても参考になった。
----	--

士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとして重要なこと、心持ちなどの精神的観念を教えて頂いた。上に立つ人ほど、倫理観が大切だということを再確認した。 ・経営側の視点と現場のスタッフ・お客様目線の双方をあわせもち、「科学者のような合理性と豊かな人間性」「厳しさと優しさ」といったような、相反する考え方を意識的に取り入れておられていて、そのバランス感覚を自分も活かしていきたいと感じた。 ・破綻した会社の意識改革を、現場経験者が行って立て直してきた流れをリアルに講演頂き、大変興味深かった。
-----	---

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・会社法上の取締役の責任について、また、取締役会の重要性について、事例をもとに考える時間をもらい、とてもわかりやすく理解することができた。 ・会社法が定める取締役の責任について詳しく知ることができた。法律で定められていること、条文規定はないが求められていることを丁寧に説明頂き、わかりやすかった。 ・今まで苦手として、できれば避けて通りたいと思っていた分野ではあるが、それではいけないということを痛感した。専門的なことは専門の方に任せるにしても、知らないまま仕事に携わってはいけないと思った。グループワークでは、専門でない方たちも皆真剣に討論を繰り広げられ、その姿勢に感銘を受けた。自分の甘さを痛感したプログラムであった。 ・法的役割と責任について、わかりやすく説明頂いた。その後の事例の検討ではグループ討議でより理解が深まった。 ・会社の内部統制委員会事務局を担当しているが、内部統制システムが有効に機能していることの重要性を改めて感じた。リスクマネジメントについては、もう少し具体的な内容が伺いたかった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースとなる条文や学説の講義のあと、グループワークで理解を深めることができ、更に判例の紹介でリアリティを感じるすることができた。 ・機関設定や取締役の法的責任を再確認できた。 ・会社法については会計士試験や実務である程度の知識があるものの、復習の良い機会となった。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・会社全体で共有する目標の大事さを感じたので、会社に提案してみたい。 ・会社法上のリスクマネジメントについて、会社法が求める内部統制システムの整備について何が必要なのか、何をしなければいけないのか考えていきたい。また、本音でぶつかること、利他の心を持つこと、物事をシンプルに捉えることを意識しながら取り組んで行きたいと思う。 ・自社の企業理念について、若い世代にどのように伝えていくかを考えたい。 ・社内のリスク管理体制を整えたい。 ・会社の方針、理念等が社員・パートの方に浸透すべく根気強く伝えていくこと、話し合うことが大切と痛感。そのような機会をどう構築するか考えていきたい。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・関与先の組織運営が有効に機能するためのアドバイスができるよう、その観点に意識をもって業務にあたること。大きな将来ビジョンを打ち立て、そこから逆算して具体的な行動を積み重ねていくこと。 ・役員としての監視責任は中小企業の場合、どうすれば果たせるのか調べたり考えたりしていきたい。 ・社外役員の責任について理解できたので、今後役立てたい。

第3回・宮城

- ・開催日：令和元年 11 月 27 日(水)
- ・出席者：31 名
- ・講演：「東邦銀行のダイバーシティ推進 ～女性初執行役員として～」
(株)東邦銀行 執行役員 事務企画部長 高橋 由美子 氏
- ・講義：「財務・会計」
早稲田大学大学院(ビジネススクール) 教授 西山 茂 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	23	74%	21	78%	2	50%
2) 良かった	7	23%	6	22%	1	25%
3) 普通	1	3%			1	25%
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	11	37%	10	37%	1	33%
2) 理解できた	17	57%	15	56%	2	67%
3) どちらともいえない	2	7%	2	7%		
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行という古い体質の中で、初の女性執行役員を登用する風土、改革、また、どういった方が執行役員として求められるか、講師の話・人柄でわかったような気がする。大きな変革をもたらすのはトップの意識がとても必要なこと、周りを巻き込む力、批判や嫉妬を気にしない受け止め方、また自身がロールモデルになればいけないという意識を持つこと、非常に勉強になった。 ・昇格していくことは不安はあるし、葛藤もある。でも、直面している悩みに関して乗り越えられるという導きを頂けた気がする。 ・とても柔和で穏やかな話しぶりの中にも、「与えられた役職や期待された業務以上の成果を出そうと心掛けてきた」との言葉から伺えるように、仕事に真っ直ぐに向き合う姿勢や強さを感じた。「過去や経験値は変えることは不可能だから、今の自身の強みを武器に」「封建的な社風の中でも、世の中の変化を追い風にすれば女性活躍推進を進められる」「女性活躍推進のためにはトップダウンで数値的目標を達成させることも必要」等のアドバイスを頂き、同じ地方銀行としてこれから取り組むべき姿勢を学ばせて頂いた。 ・経験と強みを活かしながら、俯瞰して物事をとらえる姿や、職場内で「助けられている部分が多い」とおっしゃる謙虚さなど、今自分が求められていることや課題について、具体的に意識することができた。 ・誠実かつ堅実に仕事をされてきた話を伺い、謙虚な姿勢で周りとの協力しながら成長していきたいと強く感じた。まずは「できません」をNGワードにしたい。
士業	<ul style="list-style-type: none"> ・執行役員になったことで変わった環境、事例をわかりやすく話して頂いた。ま

等	<p>た、銀行内でのダイバーシティへの取組など、非常に興味深く拝聴した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事をする上で、上司・部下・同僚との関係についてのお考え、「周りの方に助けてもらう。協力してもらわないと仕事にならない」が印象的であった。困ったことも大変だったことも、すべて経験として糧にしていると感心した。
---	---

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の決算書の「読み方」を教わり、数字から見えてくるものがあったので、面白いと思った。これから、同業他社の決算書を読みたいと思う。 ・ 参考図書で出てきた ROE などの語句が、より深く理解でき、単なる語句ではなく「生きた指標」として認識することができるようになった。また数社の財務内容からその業種またはその企業の特徴を見出すワークは、メンバーとの話し合いも興味深く、とても勉強になった。 ・ 財務諸表からの企業の見方は、まさに経営判断に直結することでもあるので、もっと多くのことを学びたいと思った。 ・ 同様の内容を何度か講義を受けたことがあるが、一番理解しやすく、たくさんの実例を話して頂いた。身近に捉えやすく、他の会社の経営指標も見たくなる、今まで苦手意識のあった部分を取り払って頂き、とても身になった。 ・ 指標にされる ROE や ROA について深く知ることができた。決算資料から業種や企業の特徴を汲み取ることができるのが面白かった。 ・ 普段あまり触れることのない内容で、事前の参考図書を読んでいるときは難しいと思っていたが、講義の内容は大変わかりやすく、そして、具体的な内容を実践しながらできたことで、より理解が深まった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務分析をして業種・業態の特徴を教えて頂いたり、その会社の経営方針・戦略をわかりやすく説明して頂いた。望ましい貸借対照表・損益計算書・キャッシュフローの在り方について、理解が深まった。 ・ 財務諸表から実際の会社の特徴や将来性を掴む話で、大変有益であった。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社の財務状況を読み解く作業。同業他社の決算を見て、強み・弱みの分析。 ・ 周囲の協力を得ながら仕事をしていきたい。また、決算資料を見る際には、競合他社比較を行う事で、理解を深めたい。 ・ 当社の収益構造を再確認し、日々の業務において努力すべきところがどこなのか社員で共有したいと思う。 ・ 自社の女性社員に、管理職を目指すのは当然という働きかけの方法を考えたい。 ・ 後輩たちのロールモデルになれるよう、自ら率先して様々なことに取り組み、後輩たちが私と同じ苦勞をしなくてすむような体制整備をしていきたい。 ・ 講義で学んだ財務・会計については、現在の仕事にも活かして行けると思うので、企業価値の評価をしっかりと、リスク判断力を高めて行きたい。 ・ 自分の専門分野として培ったものを活かしつつ、新しいフィールドでマネジメントできる力を構築していきたい。謙虚な気持ちで教えて頂くことに感謝しながら、新たな世界を見てみたいと感じた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織内でのダイバーシティについて、関与先の事業所への提案。 ・ 女性に限らず様々な背景を持つ従業員全員が働きやすい環境を整える。 ・ 顧客に決算説明をしているが、あるべき姿・目標とする数値を指導していきたい。有識者会議や外部の監事として、決算の数値をみて、適切な質問・意見が言えるようになりたい。

第3回・広島

- ・開催日：令和元年 11 月 25 日(月)
- ・出席者：34 名
- ・講義：「財務・会計」
早稲田大学大学院(ビジネススクール) 教授 西山 茂 氏
- ・講演：「『ありがとう経営』で人を育てる」
広島管財(株) 代表取締役社長 川妻 利絵 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	14	41%	11	41%	3	43%
2) 良かった	19	56%	15	56%	4	57%
3) 普通						
4) あまり良くなかった	1	3%	1	4%		
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	11	33%	6	23%	5	71%
2) 理解できた	15	45%	13	50%	2	29%
3) どちらともいえない	6	18%	6	23%		
4) あまり理解できなかった	1	3%	1	4%		
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の社員に対する愛情、会社トップとしての覚悟等を拝聴することができ、自身の今後の身の置き方等、考えさせられる点が多々あった。 ・男性ばかりの経営者陣の中でどう振る舞うべきかのヒントを頂いた。 ・会社経営の経験がない中で社長に就任され、ご自身のこれまでの経験(子育て)を活かして活躍されているところは大変感動した。いつも自分の得意分野で仕事ができるわけではないので、新しいところに身を置いたときに、どのように仕事と向き合えばよいかというところが大変勉強になった。 ・女性ならではの感性を活かして仕事をされているというのも印象的であった。 ・相手の懐に入って、できないときは人に頼ると言われたことが印象に残った。 ・女性だからと肩ひじを張るのではなく、男女それぞれ特徴を活かしつつ、お互いを尊重しながら同じ目標に向かっていくのが理想だと感じた。 ・「DNAのバトンタッチ」という言葉に考えさせられるものがあり、まだすぐに答えは出ないが、じっくり考えていこうと気持ちにさせられた。 ・広島という地域で活躍されている現役の女性経営者の話を伺えて、大変勉強になった。苦勞された点も包み隠さず話して頂き、大変参考になった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・外面、内面の両面からどのように自分を磨いていけばよいか、具体的なエピソードをたくさん話してくださり、とても参考になった。 ・人として重要な、挨拶や思いやりこそが企業の信用力の向上に重要なこと、また、それを続けることが企業の継続的発展や成長に繋がることが、当たり前だ

	けど難しく、だからこそどれだけ重要かということが心にしみた。「心の声を聞く」ということが経営者（ビジネスマン）にとって必要なことだと理解した。
--	---

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の企業の具体例を多く聞かせてもらい、とても勉強になった。決算書の見方もわかりやすく話して頂いた。 ・貸借対照表／損益計算書の読み方だけでなく、企業が何を優先してお金を使うのかについて考える機会を頂いた。 ・業種によってどのような傾向があるのか等、具体的な事例が多く、非常にわかりやすかった。 ・企業としての大事なこと・・・まずは社会貢献、そして利益をしっかりと得る、そして、その利益で企業を継続するといった言葉が非常に心に残っている。 ・講義の内容がとてもわかりやすかったので、経営者に説明する立場になった際に参考にさせてもらいたいと思う。また、問題を解くことで、講義で聞いた内容をより具体的に考えることができた。 ・全てがわからなくても、大まかなことを知っておくのは企業人として、また、今後役員レベルになろうとしているものには大切であるということが、前回同様よくわかった。 ・ただの学術ではなく、企業の内側に入り込んだ講義でわかりやすく、このような機会を与えて頂き感謝している。参考図書を改めて読み返してみたい。 ・経理仕事もしてきたが、一番避けてきた部分であった。いろいろな見方がBS、PLから見られること、業種によっての原価率の特徴など、面白く頭に入った。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・各企業の業態から現れる財務諸表の特徴をレクチャーされた後に演習問題を解いたので、とても勉強になり、理解が深まった。 ・財務諸表の構成比率をもとに企業をあてる事例は、大変実践的で、短い時間でも分析力が高まったように思う。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは自社の決算書を分析し、自社の強み・弱みについて検討してみたい。他社と比較したらよいポイントも聞けたので、実践したい。 ・コミュニケーションの大事さを感じたので、これまで以上に小さなことでも会話するよう心掛けたい。 ・自社の決算書を改めて見てみる。同じ業界の他社と比べてみる。 ・新聞やニュースなど企業の動向を意識しながら、企業分析をしてみたいと思う。 ・財務内容の分析や他社比較にもっと積極的に取り組み、わかりやすく社内に発信していこうと考える。また、困難なことがあっても自分にできることを精一杯やり、前向きに取り組んでいく姿勢を忘れないようにしたい。 ・女性ならではの視点で物事を考え、行動に移していきたい。経営視点での財務諸表を読むことができるよう、今回学習したポイントに気をつけながら日々読みこなしていきたいと思う。 ・財務に関する初心者向けの本を探してみようと思う。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・対等に扱ってくれない相手に対しては、同じ土俵に乗れるくらいの知識や能力を持つこと、あるいは、相手にはない独自の長所や個性を伸ばすこと。 ・今まで以上に様々な企業に広く関心を持って、情報収集に取り組みたい。 ・女性役員としての振る舞いに気を配っていききたい。あまり社交的ではないが、もっと社交の場に出て、様々な人と出会って自分を磨いていきたいと思う。 ・財務分析を駆使して、顧客の企業価値向上に貢献する。

第4回・宮城

- ・開催日：令和元年12月13日(金)
- ・出席者：30名
- ・講演：「経営者としての信念」
(株)北洲 代表取締役社長 村上 ひろみ 氏
- ・講義：「企業価値と経営戦略」
東北大学大学院 経済学研究科 教授 福嶋 路 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	13	43%	12	46%	1	25%
2) 良かった	13	43%	10	38%	3	75%
3) 普通	4	13%	4	15%		
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	13	45%	11	44%	2	50%
2) 理解できた	16	55%	14	56%	2	50%
3) どちらともいえない						
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・経験に基づく話、信念、体験・成果、乗り越えた困難等を率直にお話頂き、社長の苦労を知ると同時に、幅を広げて情報をキャッチする感性を磨き、行動することが将来をつくるということを学ぶことができた。感銘を受け、見習いたいと思った。 ・女性として、2代目として、ご苦勞が伝わってきた。どのように乗り越えてきたのか、リアルなお話が聞けて良かった。 ・経営者としての信念を自身の言葉で伝えて頂いた。商売上の困難からも「逃げない」、目標を先に設定して中長期的に成長できるよう「幅を持つ」、本当の人材教育のため従業員の心に「火をつける」等、参考になる話ばかりであった。また、女性へのメッセージとして「女性にはチャンスがある」「ぶれずに、しなやかに、年を重ねよ」との言葉には、大きな勇気を頂いた。 ・男性社会の建築業界における、女性の成功者の話は興味深いものがあった。 ・女性経営者というより、地元中小の経営に対する危機感と生き抜くための視点が聞けたので良かった。 ・とても前向きで楽しい話で、明るい気持ちになれた。地方でこのように輝く企業があり、その経営者が女性であることを頼もしく感じた。 ・淡々とお話をされていたが、言葉の端々から辛い思いをされることもあり、でもそれらを一つひとつ乗り越えて来られたのだろうなと感じた。社員の方と4時間、サシで向かい合って話されたという、社員に対する向き合い方も素晴らしいと思う。自分も見習わなければならないと思った。
----	---

士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師が新しい事業に取り組み、それを社員に共有していく大変さ、素晴らしさを熱く語って頂いた。逃げない、幅をもつ、火をつける、という信念についてとても共感した。特に、逃げないということは大切だと思った。
-----	--

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業価値を高めるために、何かをプラスして表現していこうと考えがちであったが、何かを削ぎ落して、強調したいことを浮き上がらせるという考え方は目から鱗であった。 ・企画部として、自社の強みを活かす戦略を考える部署に所属していて、あれもこれもと追加していくことが多かったように振り返る。要点を絞って各ステークホルダーに強みを伝えきれたなら、多くの皆さまから応援して頂けるように感じた。今後の仕事へと活かしたい。 ・ちょうど自社の事業計画で必要だったため、「顧客価値」の部分を参考図書を確認していたが、いくつか理解できない部分があり、今回の講義でよく理解することができた。 ・企業価値曲線の作成は、自社商品を改めて見つめ直すよい機会となった。 ・付加価値について何を付けるかではなく、何を捨てるか、ということが印象に残った。捨てることで残すものが見えてくるということは戦略のみならず、他の場面でも判断の時に役立つと思った。 ・企業戦略としての話であったが、自分自身にも言えることだと思い、非常に勉強になった。私自身が過去の延長で仕事をしがちなため、他者比較で自分の強みを伸ばし、無駄を省く追求をすることで、より生産性の高い仕事ができるのではないかと感じた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・何を切るかということが新しい視点であった。またブルーオーシャン・レッドオーシャンの考え方や価値曲線の作成の仕方が勉強になった。 ・企業価値の分析手法について再確認することができた。 ・企業としての付加価値を高めるためには様々な方法があることがわかった。また、企業の価値曲線により、他社との差別化、違いを明確にしていく必要があるとのことで、その点において「何をするか」ではなく、「何をしないか」が重要であるという言葉が印象的であった。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・もし自分が役員であったら、会社として同業他社との差別化をするために何に取り組むべきかを考える。ぶれない自身の信念について考える。 ・顧客ターゲットを明確にし、顧客が本当に求めるもの、顧客が潜在的に求めているものを見極め、商品に反映していきたい。 ・今後の事業展開における取捨選択を検討していきたいと思う。 ・わからないことは「教えてください」と言えるような素直さと感謝の気持ちが伝わるような人間になりたいと思う。そして、教えて頂くからには、その方の手間と時間を頂戴しているということを意識し、誠心誠意努力していきたいと改めて感じた。 ・自社の経営ビジョンを再確認し、従業員との共有に取り組みたい。 ・経営戦略についてさらに勉強し、実戦に活かしたい。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発や新しいビジネスモデルに経営者がどのようにして取り組んでいるか、どのように考えているか、撤退のポイントはどうか勉強していきたい。 ・自分の行う業務（自営業）としての企業価値の理解、他者との違いの明確化を行い、ブルーオーシャン戦略の方向に進みたいと思う。

第4回・広島

- ・開催日：令和元年12月9日(月)
- ・出席者：33名
- ・講演：「人生今日がはじまり『良い品 良い人 良い会社づくり』への挑戦」
(株)八天堂 代表取締役 森光 孝雅 氏
- ・講義：「企業価値と経営戦略」
(公財)日本生産性本部 主席経営コンサルタント 加藤 篤士道 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	17	52%	14	54%	3	43%
2) 良かった	14	42%	11	42%	3	43%
3) 普通	1	3%			1	14%
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった	1	3%	1	4%		

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	13	39%	10	38%	3	43%
2) 理解できた	14	42%	11	42%	3	43%
3) どちらともいえない	5	15%	4	15%	1	14%
4) あまり理解できなかった	1	3%	1	4%		
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の失敗談からの復活の話はとてもためになった。その中でも「何のために○○○！」という言葉と、できない社員に対して、長所を見つける名人になるという話は自分の中に響いた。 ・熱意のこもった話を聞かせて頂き、まず第一に社員のことを考えて行動されるということに深く感動した。常に新しいことに挑戦しようとする姿勢と強いリーダーシップが、経営者に求められると感じた。 ・実際の経験を聞き、改めて会社は人だと感じた。長所を見つける名人になれ。事業のもとには人にあり。今、私がしなくてはいけないことを見つけた気がする。 ・会社がV字回復した本当の要因は人であることを知ることができた。また、人材育成についての考え、そこに行きつくまでの体験（失敗談）を伺うことができたので、より心に響いた。 ・経営理念はあっても、そんなに大事なものの認識はなかった。会社の経営理念を読み直そうと思った。 ・講師の失敗から成功までの熱い体験談が勉強になった。 ・経営理念「良い品 良い人 良い会社づくり」からすべてのことが行われていること。人にはそれぞれ役割があり、長所を見つける名人になること。社員と夢を語りあうこと。社員を大切にすることがとても重要である。同様に、地域の人の役に立つことも目標に掲げて利益を還元する。正しいお金の儲け方、正しい使い方をすることなど、大変貴重なご意見を伺い、勉強になった。
士業	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで女性マネジメント層の話をお伺い元気づけられたが、具体的に挫折した

等	<p>経験を紹介頂いて大変勇気づけられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の体験に裏打ちされた経営方針、考え方が大変勉強になった。経営理念の重要性を再認識できた。 ・経営者としての失敗やその後の経営戦略の話は男女共通の事柄であるから、女性経営者にこだわらず、このような講演を聴くことができてよかった。
---	---

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・理論の部分と、参加者が感じている企業者、生活者としての実感の部分の両方をバランスよく学ぶことができた。 ・企業価値について、ともすれば、数値的価値の話になりそうなテーマを、「イノベーション」という視点から、しかも、わかりやすく考えさせて頂いたので、大変勉強になった。また、グループワークもあり、まわりの方の考え方なども知ることができ、視野が広がった。 ・今まで感覚的に、直感的に感じ、考えていたものがしっかりと言葉で論理的に説明され、図や表により視覚的にもわかりやすく、頭の中で整理された。また、これから様々なことを考えたり、第三者に説明する際にも論理的に物事を考える力・説明力につながると思った。このようなものの考え方を習慣づけたいと強く思った講義であった。 ・企業価値を高めていくにはどうしたらよいか、自分達の取扱商品を中心に、社会問題を踏まえて、これからの未来を描きながら更なる展開を考えていくことが必要だと感じた。グループワーク発表に対するコメントに温かみを感じた。 ・企業は世の中・社会から必要とされれば、何百年も継続していくことができる。誰かの役に立ちたい、誰かのためになりたいと思って企業を創業しており、その思いが経営理念に表れているということ学んだ。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を交えてわかりやすい説明だった。演習の時間が多く、かつ自由度が高い題目であり、演習結果へのコメントも講師のコンサルティング経験を交えたもので、参考になった。 ・戦略策定のアイデアの出し方が参考になった。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上はインプットを減らすことだけではなく、必要なインプットを増やし、その上でアウトプットを増やすという視点を持つ。イノベーションは一瞬一瞬がつながってその先にある。今を一生懸命に考え行動すること。 ・経営戦略の策定に携わることはないと思うが、今のうちから、新たな経営戦略を策定しておく必要があると感じた。当社の経営計画書を読み直そうと思う。 ・企業が継続し、成長していくためには、常に新しい発想をもって、「経営理念・ビジョン」を意識した仕事をしていくことの必要性を感じた。 ・これからは、広くアンテナを立て、視野を広めて物事を見ることができるよう、できるだけ意識して仕事に取り組んでいきたいと思う。 ・できない社員はいないという考え方を植え付ける。自分なりのスタッフとのコミュニケーション方法を考え実行する。 ・選択と集中と差別化を実践し、何に注力すべきかをフラットに見直す。 ・経営戦略やビジョンの構想は自分の仕事ではないと思ってきたが、会社規模ではなくても自分の管轄する範囲でのビジョンを持ち、課員と共有していきたい。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的価値、SDGsについて考え続けたいと思う。 ・自分の事務所について、もっと経営理念やビジョンを明確にして従業員と共有していくことに取り組みたい。

第5回・宮城

- ・開催日：令和2年1月16日(木)
- ・出席者：30名
- ・講演：「ポストが人をつくる」
第一フロンティア生命保険(株) 代表取締役社長
第一生命ホールディングス(株) 取締役 常務執行役員 武富 正夫 氏
- ・講義：「技術・産業のメガトレンド、イノベーションを起こす経営」
国立大学法人滋賀医科大学 医学研究監理室室長、
バイオメディカル・イノベーションセンター 特任教授 小笠原 敦 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	19	63%	18	69%	1	25%
2) 良かった	11	37%	8	31%	3	75%
3) 普通						
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	11	38%	9	36%	2	50%
2) 理解できた	17	59%	15	60%	2	50%
3) どちらともいえない	1	3%	1	4%		
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとしての心構え、あるべき姿について実体験をもとにお話し頂き、とても説得力があった。「準備万端」で臨むことは、私の課題でもあったので重要性を再確認でき、改めて自分自身の行動を見直す機会となった。 ・リーダーとして「高潔性」が求められるとの話が印象に残った。人の弱みではなく強みに焦点をあてる。部下に対しても、自分に対しても心がけていきたい。 ・講演を聞いて、迷いを払拭することができるのと同時に、すぐに行動に活かせるアクション（毎週できたこととできなかったことの棚卸）を知ることができた。 ・今体験している修羅場が無駄ではない、むしろ必要なものであると教えて頂いた。 ・ダイバーシティ&インクルージョンの視点からも、リザーブメンバーをインパクトプレイヤーとして捉える姿勢には、はっとさせられた。加えて自分の強みと個性を徹底的に磨きながら、チームで仕事をするからこそ、各ステークホルダーに対する覚悟と責任が生まれるのだと考えさせられる話であった。 ・人事の視点からの話、経営者の立場からの話、役員に必要なことなど（特に高潔性について）、一つひとつがとても参考になった。 ・ポストが人をつくる、というのは本当に共感できた。同時に自分自身だけでなく、仕事を任せることを行っていかなければならないと感じた。実際に大きな
----	---

	<p>組織の社長をされている方の経験談を伺えるのはとても良い機会であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱みをいつも気にしており、前に進めない自分がいたが、弱点、課題にとらわれず、自らの個性を徹底的に磨くことを心がけて行こうと思った。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者としての必要な資質を教えて頂いた。人を活かすことができる力、暴れ馬を乗りこなす力が必要とのことで、自分もそんな力を持ちたいと思った。 ・役員等のポストには責任を伴うものの、やりがいがあるばかりでなく、まずはポストに就いてやってみたらどうか、と肩を押されたように思った。

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・自分には到底理解できない難解な最先端の技術の話と聞いていたが、わかりやすく講義頂き、大変楽しく学ぶことができた。技術と経済は切っても切り離せないこと、企業価値の源泉が、有形資産から無形資産へシフトしており、日本は大きく遅れをとっていることなど、話が印象的であった。 ・世界の中での日本の位置に衝撃を受けた。様々な統計的数値を様々な角度から見る必要があることがわかった。 ・技術と経済とビジネスモデルは切っても切れないというところで、全て包括して把握することの必要性を感じた。産業革命のような世界の転換点の今、将来を想像して価値創造・提供ができる事業を考えていきたいと思った。 ・世界を相手にする日本では、各企業が付加価値の追求や仕組みの構築化を図りながら生き残るための知恵を出していかなければならないのだと感じた。一方で、AIを上手に活用すること、リバースイノベーションの発想を大事にすることなど、アイデア創出のためのヒントを学ばせて頂いた。 ・グループワークが良かった。今の受講生たちで新しいビジネスモデルが作れるのでは、と思った。グループ発表に対する講師のコメントが素晴らしかった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・文系、理系にとらわれずに、豊かな発想で、日本の国際競争力の回復に向けて何ができるのか、少し大きな視点を持つことの重要性を教えられた。 ・これからは無形固定資産の評価ができるようにならなければいけないと聞き、企業価値評価で役立てていきたいと思った。 ・政府がなぜ society5.0 の実現を目標に掲げているのか、その背景を知ることができた。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで出たヒントから、ビジネスモデルをつくりたい。 ・海外の企業がどういった変革を行っているのかについて調べてみたいと思う。 ・自社サービスについて、固定概念に凝り固まった考えをしている自分に気づかされた。今後も多くの方と意見交換する機会を持ち、自社商品の強み・弱みを客観的に見る力を養いたい。そして常に柔軟な考え方ができるようになりたい。 ・講師は、毎週日曜日、前週を振り返り、翌週やるべきことを書き出していると、自身の習慣を紹介していた。少しずつでも真似てみたい。 ・グループディスカッションなどにおいて、様々な人の知識や経験を引き出すような人間力を身につけたいと思う。個々の強みを最大限に活かせるようなコーディネートを意識しながら、自分自身もあらゆる視点で物事を捉えつつ、アイデアの着想と発想を生み出す感性を大切にしたい。 ・世界の大きな変化を見極める努力をしたい。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のはずにとらわれずに柔軟な発想で、新たなビジネスモデルを考える習慣をつけたい。

第5回・広島

- ・開催日：令和2年1月21日(火)
- ・出席者：33名
- ・講演：「激変する世界環境 ～これからの取締役とは～」
G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長、J.フロントリテイリング(株)
社外取締役、ウシオ電機(株) 社外取締役、コニカミノルタ(株) 社外取締役
橘・フクシマ・咲江 氏
- ・講義：「技術・産業のメガトレンド、イノベーションを起こす経営」
国立大学法人滋賀医科大学 医学研究監理室 室長
バイオメディカル・イノベーションセンター 特任教授 小笠原 敦 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	16	48%	12	46%	4	57%
2) 良かった	15	45%	12	46%	3	43%
3) 普通	2	6%	2	8%		
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	10	32%	6	25%	4	57%
2) 理解できた	18	58%	15	63%	3	43%
3) どちらともいえない	3	10%	3	13%		
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・世界で活躍される経営トップの経験から話を伺い、ダイバーシティの重要性や、社外取締役の役割等について、理解が深まった。 ・社外取締役（リーダー）には、一貫性、量と質のバランス、客観性対親和性、時間とコミットメント、外柔内剛に対応することなど、大変貴重な話を伺った。芯を持ってしなやかにしたたかに頑張っていこうと思った。 ・変化し続ける世界情勢の中で、自社の役割や自身の在り方や求められる姿について考えることができた。 ・社外取締役との関わり方についても考えてみるきっかけとなり、当社も、外部の意見を聞き入れる体制をつくり、多様性を活かすことで業績改善に繋げていくことを検討していった方がよいと思った。 ・昨今、社外取締役が重要ということで、法律等での義務化も進んでいるが、いまひとつ社外取締役の役割が実感できていなかったもので、長年社外取締役として活動して来られた講師の話を伺うことができ、大変参考になった。 ・その時々新しいチャンスを活かすことができているのだろうか、見過ごしていないか、これからの自分の仕事の進め方について考えるきっかけになった。 ・取締役に必要なことを具体的に教えて頂き、自分がどのような目線で見て判断すべきか参考になった。米国と日本での考え方の違いを、経験からわかりやす
----	---

	く話して頂き、無意識だが自分はとても日本的な考え方をしていると感じた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役としての視点から、コーポレート・ガバナンスや激変する世界環境変化について話を聞き、一企業とか日本とか、狭い枠組みの中に留まらない思考の重要性を痛感した。 ・今後の取締役に求められるものについて、マクロ・ミクロのように、バランス感覚が問われる点が多いと感じた。

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の中の日本の現状や今後の日本が抱える課題、世界は有形資産が主体の経済から無形資産主体に大きくシフトしていること、理系の人だけでなく文系の人も入れて検討討議することで新しいことが生まれるなど、とても有益だった。 ・IMD ランキングの話では具体的な問題点を提示してもらったことがとても興味深かった。評価項目が低い点に目を向け、それを新たなビジネスチャンスと捉える発想力を持つことが大事だと感じた。 ・講義を受け、「イノベーション」に対するハードル（抵抗感）が低くなり、あまり難しく考える必要はないという発見ができた。 ・普段絶対自分では興味を持たない分野で少し構えていたが、「企業価値と経営戦略」と同様、ビジネスの芽として考えていく必要があると理解できてよかった。 ・無形資産の価値や新しいビジネスモデルは、現状あるものの組み合わせで生まれるものということは、自身の仕事に置き換えても非常に役に立つと思った。 ・グループ討論での話し合い、他のグループの発表を聴くことが非常に興味深く、改めてこの異業種間コミュニケーションの良さを感じた。グループワーク発表に対するコメントも、一つひとつが学びとなった。 ・身近な雑談から、素晴らしい考えが生まれるということに新たな発見があった。 ・とても面白いデータ類だったので、もう少し時間をかけて聞きたかった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析により日本の経済的地位低下の真の原因を理解でき、また今後の改善の方向性として無形資産投資とイノベーションを重視すべきということが、客観的なデータから読み取ることができ、データ分析の重要性も理解できた。 ・多くの統計資料から、日本の世界での現在の立ち位置、今後の課題が良く理解できた。視点が広く、視座が高く、刺激を受けた。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・特に心に残っているのは、外柔内剛であること。誠実であること。会社においても何をつくるのかではなく、何を解決するのかを論点に考えていきたい。 ・業績向上のため、社内の意見はもちろん、外部からの意見も取り入れるような環境づくりを行っていきたい。世界の環境変化についていけるよう、情報収集を行っていきたいと思う。 ・与えられた環境の中で創造し、チャンスを逃さないよう考え行動していきたい。 ・社内・社外に多様な意見を持ち込む存在となれるよう、幅広い知識を身につけ、アンテナ高く過ごしていきたい。 ・現在の事業内容や社内の情報にとらわれず、社会の動きや海外の動きなど、広い視点で事業について考える癖をつけたいと思う。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・分析するとき、出された資料を分析するのではなく、状況を把握するためには、どんな資料を分析したら良いかを考えていきたい。そうすることで、新しい発見や予測が可能となり、あるべき方向性が見えてくるのだと思った。 ・社外取締役の執行に対する監督の実効性をあげることを意識して、運用面などについて意見を述べていきたい。

第6回・宮城

- ・開催日：令和2年2月12日(水)
- ・出席者：30名
- ・講演：「女性役員への期待 パーソナルブランドの確立」
SAPジャパン(株) 人事戦略特別顧問
アキレス 美知子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	23	77%	21	78%	2	67%
2) 良かった	7	23%	6	22%	1	33%
3) 普通						
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリアとライフどちらも大事」「パーソナルブランドを持ちなさい」「フィードバックをしてくれる人を大事に」「チャレンジし、実績を上げ本物の自信をつけよ」「自分を見ている後輩を意識しなさい」。今後、仕事を続けていくうえで指針となるメッセージをたくさん頂いた。穏やかな話しぶりの中にも、強い信念や一貫性を感じた。 ・女性役員として進むための気持ちの在り方や具体的な方法など、わかりやすかった。後押しして頂いた。講演内容もセミナー全体をまとめる形で良かった。 ・ご自身のキャリアの紹介も行いながら、今までの仕事での経験もいろいろとお話頂き、人生の先輩としてとても参考になった。特に、人事からの視点の話がとても参考になった。 ・内容もそうであるが、話し方も大変勉強になった。含蓄のある言葉が多々あり、ぜひ見習いたいと思った。 ・女性役員がもたらすメリットについて、深く納得することができた。また、パーソナルブランディングの話やキャリアとライフ両方共に大切にされている生き方に感銘を受けた。 ・講師の話は、端的でわかりやすくイメージしやすかった。落ち着いた話し方かつ柔和な印象で自分の目指したい姿である。少しでも近づけるよう今後も精進したいと思った。 ・自身のライフスタイルをオープンにしながら、その能力について、謙虚過ぎず、最大限にそして自然に活かしていらっしゃる場所に敬服した。「親しみやすさ」と「専門性」を兼ね備えて、しなやかに生きる姿に近づけるようになりたいと感じた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師からお聞きした7つのポイントで、ステークホルダーに対する説明があった。きちんと理解して説明できないといけないと思った。 ・ご自身の経歴やパーソナルな情報を入れながらも、女性役員としてどのように自覚を持つか、また活躍の道を切り開くかということを具体的に示して下さい、大変元気がでた。

3. アクションプランの作成と共有について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は、他者のアクションプランを共有して、何かアドバイスを貰えるものなのかとても不安であったが、業務がわからなくとも、人生経験やその会社の方法など、様々なアドバイスを頂き、非常に勉強になった。 ・今までの学びを活かし、当初のメンバーと意見交換したことで、自分のアクションプランについて、さらにまた一歩深く考えを進めることができたと思う。 ・それぞれの立場や、置かれている状況によって、アクションプランの内容に大きな違いがあり、共有することはとても興味深かったが、その中でどうまとめていくかという作業が、時間もなくなってしまい、難しいと感じた。 ・受講前の半年前に比べ、自分も含め受講者の皆さんの「思い」や「今後やるべきこと」がハッキリとしていたグループ討議であった。もう少し突っ込んだプランにしたかったが、やはり時間が短く感じた。 ・業界も環境も異なる人の集まりで、お互いの状況を想像しながらのアドバイスが、意外と的を得ていると思った。 ・企業の中間管理職である私には、組織や戦略を動かす方法がわからず、具体策は書き出しにくかった。ただ共有することで参考になる部分は大きかった。 ・様々な意見交換とともに、まとめる力、発表する力など受講生からの学びも大きいと感じた。自分自身が発信する力を磨きたいと思う。課題も明確になった。 ・アクションプランの作成と、それをグループで話し合うというのは、自分自身ですべきことが明確になったり、他の方の考えがとても参考になった。ただ、時期や書く項目が多くて、埋めきれないという話がチームの話し合いでも出ていたので、簡素化してもよいかと思う。 ・アクションプランを立てることは苦手だが、この機会に作成してみて、自らを省みることができた。受講者の置かれた状況が様々なので、共有は難しかった。 ・アクションプラン作成がうまくできなかった。自分のプランの修正点や不足部分などについて、アドバイスなど頂ければありがたかった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランは、どの程度の内容、詳細を記載すべきかわからなかったため、それぞれで深度が違っていたが、他者の内容を参考にすることができた。 ・自分をはじめ、アクションプランの作成に皆あまり慣れていないため、具体的な意見交換を円滑にできたようには感じられなかった。

4. 本日の研修について、気づいた点や感想など

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の互いの業務や、その方の人となりもある程度理解できている中での研修は、お互いに信頼感があり、自分の想いや考えを十分に話せる状況となっても良かった。また、講師の経歴、今いらっしゃるお立場があまりにも素晴らしく、自分の立場にどう反映していったらよいか、少し悩んでしまった。 ・6回にわたる研修を通して受講者同士の関係が深まり、話をしやすい良い雰囲気ができたと感じた。このつながりを今後活かせればと思う。 ・自分に足りないことというのは普段から漠然と感ずるものであっても、目指す姿が明確になったときにはじめて意識できるのだと思った。新たな、そして前向きな気づきを頂き、ありがとうございました。 ・欲をいえば、ようやく全員の名前や属性がわかってきた頃なので、一人ずつコメントをする機会があれば、各人の考えを改めて知る機会になったかと思う。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランのグループ検討は、一般企業に勤める方、経営者の方、士業の方で分けてグループ検討してもよかったのではないかと思う。 ・第6回目ということもあり、皆が積極的に意見を述べ、主体的に取り組もうとしている姿勢を強く感じた。刺激になった。

第6回・広島

- ・開催日：令和2年2月17日(月)
- ・出席者：33名
- ・講演：「女性役員への期待 パーソナルブランドの確立」
SAPジャパン(株) 人事戦略特別顧問
アキレス 美知子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	15	45%	11	42%	4	57%
2) 良かった	18	55%	15	58%	3	43%
3) 普通						
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・役員としての心構えをわかりやすく説明して頂き、研修全体を振り返ることもできた。 ・「チャンスがあればやってみる」という言葉に励まされた。 ・企業役員としても女性としても尊敬でき、魅力的だった。パーソナルブランドについて考えてみようというきっかけになった。 ・話の内容が端的にまとめられたものであったため、非常にわかりやすく、頭を整理しながらお聞きすることができた。また、人事経験者としても共感できる部分が大変多かった。 ・「役員」としてだけでなく、現在の自分の立場においても、心構えとして役立つキーワードをたくさん聞くことができた。今後の自分自身の行動に役立てていこうと思う。 ・役員としての心得、女性役員がもたらすメリット、そしてパーソナルブランドの確立、とても興味深く受講した。追い風に乗ってチャンスをつかむこと、自分らしく自分ができることをチャレンジしてやっていきたいと思う。 ・チャンスを活かすこと。自信をもつこと。期待されていることなど、ポジティブに物事を考え積極的に行動することが大事だと心に残った。 ・軸をぶらさず目標をたてて仕事に臨む姿勢に感銘した。 ・異なる企業それぞれ置かれた立場で、やること心持ちなどを変化させながら対応してこられた話が、とても参考になった。 ・パーソナルブランディングの話はとてもタイムリーだった。今の自分の状況と照らし合わせ、すぐに活用できる内容はすぐに取り掛かってみようと思う。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・直接的な人事関連の講義・講演がこれまでなく、エキスパートの方の話を伺う貴重な機会だった。今後の仕事へのモチベーションアップとなった。 ・パーソナルブランドは耳にしたことはあっても、自分のこととして具体的に考えたことはなかったので、マインドチェンジする良い機会になった。 ・女性役員育成研修の総括として、「役員としての心構え」、「女性役員ならではの特性」などを学んだ。

3. アクションプランの作成と共有について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価値観や置かれた立場が異なる人たちの、目標設定の仕方やその背景などがわかり、とても刺激になった。また自らの棚卸しとしても有益な情報で、一緒に成長する仲間がいることが大きな心の支えになると感じられた。 ・ 皆が自社における自身の立ち位置や会社の課題に真摯に向き合い、前向きに取り組もうとする姿を拝見し、自分も自社の中でやるべきこと、またキャリアだけでなくライフも充実させることも視野に入れ、人間的に魅力ある人になりたいと思える機会を頂いた。 ・ アクションプランを使ってこれからの行動目標を可視化することによって、6回の学びで感じた自身の強み・弱み、それぞれに対応した具体的な行動が将来に向かってできると感じた。 ・ こういう機会がなければ、アクションプランを立てることはなかった。また、他の受講者の方と共有することで、新たな気づきを得ることができた。 ・ 自分のプランはどうにも抽象的であったため、他の方のプランを聞いて、どのように立てればよいのかのヒントになった。 ・ 互いの背景を少なからず理解した上でのアクションプラン共有は十分有用な情報交換となった。個人的にはもっと実践的なレベルまで落とし込む必要があると感じた。今回のプランを次年度の個人目標に落とし込んで実践していきたい。 ・ 同じベクトルに向いて仕事をするという点が参考になった。皆違う仕事をしているのに、グループ共有で良い成果が生まれるのか不安だったが、自分のため、会社のために頑張ろうとされている姿勢がとても好感が持てた。 ・ 自社、自組織におけるアクションプランなのか、自分自身が考えるあるべき姿なのかなど、迷うところがあった。 ・ 他の人のアクションプランを聞いても、あまり参考にならなかった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の方のアクションプランは参考になり、講師のコメントも大変有意義であった。質問力について意識できた。一方で、やはり個々の立場でプランが個別的な部分もあり、発表に向けてまとめようとするのが難しかった。 ・ 受講仲間の今後の抱負を聞き、自身のプランの見直しの参考になった。 ・ 自己のプランの再確認ができた。また、他の人のプランを共有できたことで、いろんな考え方や、自分への反映の仕方が見えた。

4. 本日の研修について、気づいた点や感想など

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修全体を振り返ることができ、自分なりに学んだことを再確認できた。今日は他の方と話す機会も多く、お互いの立場や考えていることが知れてよかった。 ・ パーソナルブランドの確立とアクションプラン、自分の方向性を考えるのにとってもよい機会となった。今後のアクションプランの振り返りで、皆がどのように成長されているのか、とても楽しみである。(負けないように頑張らないと) ・ アクションプランの共有については、各社の抱える課題や背景の説明なく理解が難しい案件であったため、もう少し時間を要すると感じた。 ・ 最後のグループが最初のメンバーに戻ったのは良かったが、折角なのでアクションプランを1回目に共有しておけば研修受講後の意識の違いなども感じることができたのではと思った。 ・ 研修最初の日のグループに戻り、何かものすごく懐かしく思えたが、もっといろいろな組合せで議論できるとよかったとも思った。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演もアクションプランの共有も、皆やる気満々で、少し時間が足りなかった。 ・ 新年会ではなく、最終回の後打ち上げを兼ねて懇親会を設定頂いたのは、今後の交流を深めるためにも大変ありがたかったと思う。